

住民の「気候変動意識・行動変容」に関する実態調査結果

当センターでは、今年度、環境省事業の一環として「気候変動(地球温暖化)に関する住民の意識・行動変容調査」をアンケート方式により行いました。住民が地球温暖化問題についてどのような「認識」や「関心」を持っているのか。また、私たちの地球温暖化に関わる「啓発」が住民の意識・行動にどのように「変容」をもたらすのかなどについて把握し、より効果的な「普及啓発活動」への展開に資することを目的として実施しました。

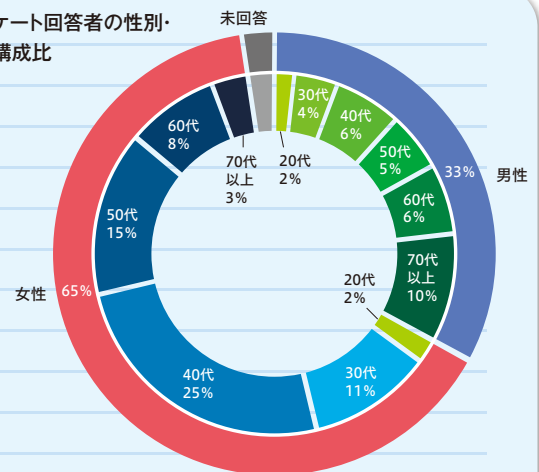
1. 気候変動(地球温暖化)意識調査アンケートの回答者の性別・年代構成比

(回答総数)470件

内訳:「SNSによる回答」363件

「講座会場等で回答」107件

アンケート回答者の性別・年代構成比



2. アンケートの方法

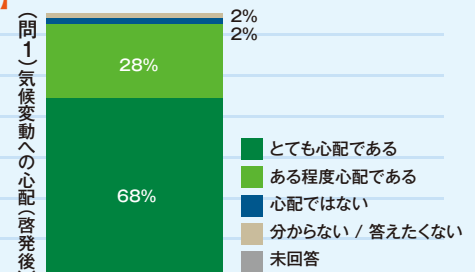
アンケートは、表(おもて)面に「設問」を、裏(うら)面に「設問毎の解説(啓発資料)」を掲載し、「啓発前の意識・行動意欲」と裏面の「啓発後の意識・行動変容」についてそれぞれの回答を得ました。

3. アンケートの設問及び回答【グラフは啓発後の回答のみを掲載】

(問1) 気候変動の影響についてどのくらい心配か(啓発前・後)

- 「とても心配である」 啓発前66%、啓発後68%
- 「ある程度心配である」 啓発前30%、啓発後28%

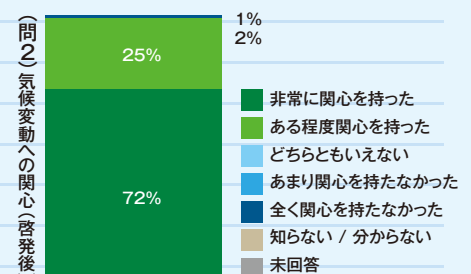
※啓発後の意識変容の割合はいずれも2%程度の増減であるが、「ある程度心配である」と併せると96%が「心配感」を持っている。



(問2) 地球温暖化問題、気候変動問題についての関心度(啓発前・後)

- 「非常に関心をもった」 啓発前64%、啓発後72%
- 「ある程度関心をもった」 啓発前30%、啓発後25%

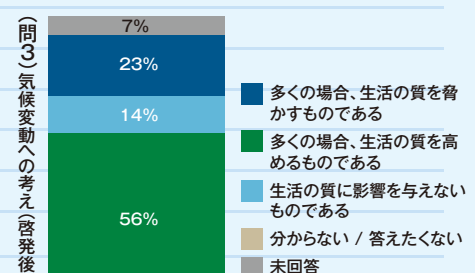
※啓発後「ある程度関心をもった」が5%減少し、その分、「非常に関心をもった」は8%増加している。啓発により、上位への意識変容が見られ啓発効果は大きかった。



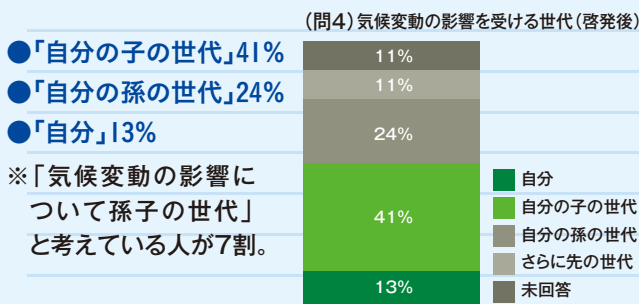
(問3) 気候変動問題対策はどのようなものと考えるか(啓発前・後)

- 「生活の質を高める」 啓発前47%、啓発後56%
- 「生活の質を脅かす」 啓発前30%、啓発後23%
- 「生活の質には影響がない」 啓発前後とも14%

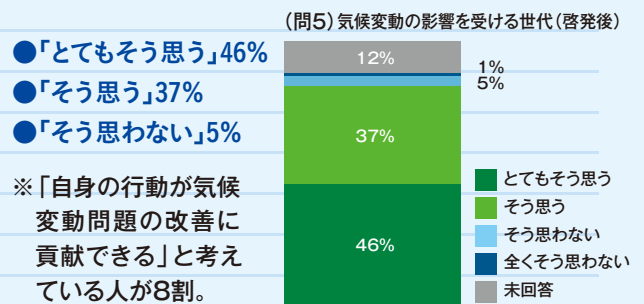
※「気候変動対策」と「生活の質」との関わりについての設問は、啓発後に「生活の質を脅かす」が7%減少した一方、「生活の質を高める」に9%増加し、上位への意識変容が見られ啓発効果は大きかった。



(問4) 気候変動の影響を受ける世代についての認識 (啓発後)



(問5) あなた自身の行動により気候変動問題は改善ができると思うか (啓発後)



4. 回答結果から見えたもの

● 設問1～3までの回答について、「危機意識(心配)及び関心の有無」について分類し、クロス集計を行うと、

- ア 危機意識:有り, 関心:有り 69% (行動変容を促し、実践に繋げていく)
- イ 危機意識:有り, 関心:なし 20% (関心部分を啓発・醸成し、行動変容に繋いでいく)
- ウ 危機意識:なし, 関心:なし 10% (危機意識を啓発し、気づきから関心へ繋いでいく)
- エ 危機意識:なし, 関心:有り 1% (まず、危機意識を啓発・醸成していく)

● 上記結果から、ア及びイの分類の[危機意識あり]は合計で約90%を、また「関心あり」は69%を占めていること、また、設問5の「自身の行動により気候変動問題は改善ができる」の問いには「そう思う」が合計で83%を占めており、住民の「意識・関心」の高いことがわかります。

● 住民が日常生活の中で「地球温暖化対策」への「行動変容」に至るまでの過程は、『「気づき・心配をし」、「危機意識」から「関心」をもって行動して行く』、そのために「私たちが行う必要な普及啓発活動」とは、「その気づいてもらうための背中の一押し」という役割を担っていければ良いのではと思います。

環境団体紹介コーナー

横浜温暖化防止推進員会議

「横浜温暖化防止推進員会議」は横浜市在住の地球温暖化防止活動推進員が約100名で構成している組織です。主な活動としては、隔月で「推進員会議」を開催しており、推進員の活動発表・相互の情報交換や講師を招き研修会を実施するほか、施設の現地見学会なども行い、温暖化&エネルギー関連情報を提供しています。

また、2050年「ゼロカーボン横浜」を目指して、主に小・中学校、図書館、地区センター等において出前授業などを実施しており、太陽光発電などを活用した体験型の普及啓発活動を行っています。



第12期推進員の知事委嘱について

現在の「地球温暖化防止活動推進員」の委嘱期間は、令和3年3月31日が任期となっています。

推進員は地域の「地球温暖化防止活動の核」として

- ・ 地球温暖化防止に向けた普及啓発活動に熱意と識見を有していること、
- ・ 神奈川県内に在住、在勤、在学していること、
- ・ 年齢が満18歳以上であること、

などの要件を満たしている方が応募出来ます。

「かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐために！」お仲間と一緒に地球温暖化防止活動推進員に「応募」しませんか。

(詳細は、神奈川県環境計画課 TEL 045-210-4053)

受賞おめでとうございます!

令和2年度

『気候変動アクション環境大臣表彰』

日本ソーラーッキング協会(JSCA)の鳥居ヤス子さんが長きにわたり、神奈川を中心に市民レベルで「ソーラーッキング」の普及に尽力されてきた功績により「環境大臣表彰」を受賞されました。



「海洋プラスチックごみ問題ポスター」を作成しました。活用を!

地球環境の悪化の原因の一つであり、年々深刻さを増す「海洋プラスチックごみ問題」の普及啓発を行っていくため、「海洋プラスチックごみ問題ポスター(A1版カラー刷)」を作成しました。「環境イベント」や「環境学習」などの教材として、ポスターは無料で配布しています。是非ご活用ください。

海洋プラスチックごみ問題って?

自然界で分解されにくい特徴を持つプラスチックが、不法投棄やポイ捨てなどにより、自然界に流出してしまい、河川等を通じて海にたどり着き、自然環境や生態系を破壊する海洋汚染につながってしまうことをいいます。

海洋プラスチックごみ問題を解決するためには?

- プラスチックごみによる海洋汚染で特に危惧されているのは海洋生物への影響ですが、人体への影響や経済損失も見逃すことが出来ない問題となっています。
- 現在、プラスチック総生産量のうち、私たちが日常生活の中で便利な故に何気なく使って消費しているレジ袋やペットボトルなどのパッケージ類が全体の3分の1と最も多く、ごみとして廃棄される約半分もこうしたパッケージ類だと言われています。
- 既に、企業においては、プラスチックストロー廃止や再生可能な原材料に切り替える取り組みを行っているほか、国や自治体でもプラスチックごみの削減に向けた条例化や各種キャンペーンを始めています。
- 国や自治体、企業がプラスチックごみの削減に取り組む中で、私たち一人ひとりにできることは何でしょうか? コンビニやスーパーでのレジ袋の使用を買い物バッグなどで代用することや、ペットボトルの使用を控え、水筒を持ち歩くことなどがあります。また、海岸や河川敷の清掃活動への積極的な参加も海洋プラスチック問題に大きく貢献できるでしょう。

海洋プラスチックごみ問題

海へ流れ込むプラスチックごみは年間少なくとも800万トン!

このままでは... 2050年には海洋中のプラスチックごみの量が魚の量を上回る

年	世界のプラスチック年間生産量	海洋中のプラスチックと魚の量比
2014	311 百万トン	1:5
2050	1,124 百万トン	>1:1

プラスチックごみはどこから来るの?

7割が生活から発生

漂着ごみ: 海岸にうちあげられたごみ。大きな水や海草に交じって、生活ゴミや漁具などが漂着している。

海底ごみ: 海底に沈んでしまったごみ。漁具や船、廃たけで中心。レジ袋なども沈んでいる。

母乳しか飲まない赤ちゃんクジラの胃の中からプラスチックごみを発見!!

漂着プラスチックごみから温室効果ガスが発生!!

環境省の全国10地点漂着ごみモニタリング調査ではプラスチック類が半分以上を占めている。(容積換算)

プラスチックは太陽や風雨にさらされて劣化が進むと強力な温室効果ガスのメタンを放出する。(ハワイ大学研究)

マイクロプラスチックが生態系を脅かす!!!

海を漂うプラスチックごみが波や紫外線などの影響を受けて細片化し、直径が5mm以下となった微細なプラスチックをマイクロプラスチックという。

プラスチックは有害な化学物質を吸着しやすい性質があり、海の生き物がマイクロプラスチックを誤って食べ体内に蓄積されるなどして、食物連鎖を通じ海の生態系や人間に影響を与えることが懸念されている。

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター

環境測定器 貸出無料(2週間以内)

ワットアワーメーター



電化製品の消費電力や待機電力、それに伴う電気料金や二酸化炭素排出量が測定できます。

放射線測定器



放射線量を測定します。

省エネナビ(貸出期間:1ヶ月)



毎日の総電力消費を1時間毎に記録します。同時に指定した量を超えると教えてくれます。

温度記録計



気温を自動記録します。記録間隔は用途にあわせて15通りから選択できます。

デジタル温度計



気温をデジタル表示します。

赤外線放射温度計(小)



赤外線を照射して温度を測定します。

CO₂濃度計



大気中の二酸化炭素濃度を測定します。室内換気の目安等としてお使いいただけます。

マルチ計測器



風力測定、温度測定、湿度測定、照度測定ができます。

電球比較機(LED・蛍光灯・白熱)



アルミケース収納型

赤外線放射温度計(大)



赤外線を照射して温度を測定します。

節電家族



電球(LED・白熱)によるエネルギー(力)比べ

節電や省エネなど環境に配慮したライフスタイルの「見える化」にお役立てください!

環境関係DVD

(収録数:58本)

貸出無料(2週間以内)

題名(主な作品)

- 解決!地球温暖化!
- エコドライブは一石三鳥
- 地球温暖化
今、私たちにできること
- 視聴覚障害者向けDVD
地球温暖化
今、私達にできること
- 省エネ照明と暮らしのあかり
- 見直そう私たちの暮らし
- 学ぼう地球温暖化
- 夏の節電対策ビデオ
- こどもエコクラブ できること
からはじめる環境学習
- 家庭の省エネ診断マニュアル
(マニュアル付)

※その他に、環境関係図書の貸出もしています。(蔵書数206冊)

「環境活動支援コーナー」がリニューアル

編集後記



コロナで活動ができなくなってもう一年がたちました。この一年で私たちの生活が一変してしまいました。あんな小さなウイルスが地球の状況を劇的に変えるなど考えたこともありませんでした。当「環境活動支援コーナー」も2度目の閉室が続いています。皆の関心は当然、コロナにあります。が、まったくの地球温暖化への関心が薄れてきていることに危機感を覚えています。温暖化によってシベリアの凍土がとけて閉じ込められていた炭疽菌が解放され感染が拡大したり、二酸化炭素(CO₂)やメタンガスが地球に大きな影響を及ぼすとこまで来ると危機感をみんなの共通認識にまで広げる役目を担っているセンターとしては、まったく歯がやい一年でした。

発行日 2021年2月26日

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター9階

TEL: 045-321-7453 FAX: 045-321-7454 URL: <http://www.kccca.jp>

E-mail: info@kccca.jp

閉館日: 日曜日・祝日・県民センター休館日 開館時間: 9:00~12:00 / 13:00~18:00

編集・発行

法人の活動を支援して下さる会員を募集しています!

年会費

- 正会員・個人 5,000円
- 賛助会員・個人 1,000円

詳しくは事務局までお問合せください。